2020年3月期決算および長期経営構想説明会

2020年5月20日 宝ホールディングス株式会社

本日の内容

I. 2020年3月期決算 および 2021年3月期業績予想

(発表者:取締役 森 圭助)

- 1. 2020年3月期 決算
- 2. 2021年3月期 業績予想

Ⅱ. 長期経営構想

(発表者:代表取締役社長 木村 睦)

- 1.長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」 振り返り
- 2.宝グループ長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100th」
- 3.「宝グループ中期経営計画2022」
- 4. 「 宝グループ・サステナビリティ・ポリシー |
- 5.最後に

<参考資料> 宝HLD連結_包括利益計算書、2021年3月期第2Q累計業績予想、 為替レート前提、粗留アルコール輸入通関(CIF)価格の推移



<新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響の考え方>

- ◆ **2021年3月期業績予想** 影響が2020年7月頃まで続くことを前提に策定。
- ◆ 長期経営構想等 長期経営構想や中期経営計画には影響を及ぼさないことを前提に 策定。

Takara

3

I. 2020年3月期決算 および 2021年3月期業績予想

1. 2020年3月期決算

2020年3月期 宝ホールディングス (連結) 業績

連結損益計算書(売上高~営業利益)

(百万円)

						2020年3月期	前其	期比	2/13 ਤੋਂ	⁵ 想比
						実績	増減	率(%)	増減	率(%)
	宝		酒		造	153,141	683	+0.4	67	+0.0
	宝河	酉造インタ	ーナシ	ョナルグル	ノープ	82,765	4,931	+6.3	546	+0.7
	タ	カラバ	イオ	グル -	ー プ	34,565	▲ 1,275	▲ 3.6	265	+0.8
	そ		の		他	31,801	▲ 940	▲ 2.9	53	+0.2
	調		整		額	▲ 21,082	349	_	258	_
売			上		高	281,191	3,748	+1.4	1,191	+0.4
売		上		原	価	172,574	3,880	+2.3	1,074	+0.6
売		上	総	利	益	108,617	▲ 132	▲ 0.1	117	+0.1
	運		送		費	11,000	837	+8.2	100	+0.9
	広	告	宣	伝	費	2,051	▲ 704	▲ 25.6	51	+2.6
	販	売	促	進	費	35,073	1,060	+3.1	▲ 326	▲ 0.9
	研	究	開	発	費	4,259	▲ 449	▲ 9.5	▲ 140	▲ 3.2
	管	理 費		そ の	他	40,395	1,090	+2.8	▲ 104	▲ 0.3
販	売	費 及 7	バ —	般 管 理	費	92,781	1,835	+2.0	▲ 418	▲ 0.4
	宝		酒		造	4,175	▲ 1,772	▲ 29.8	327	+8.5
	宝河	酉造インタ	ーナシ	ョナルグル	ノープ	3,532	1 ,000	▲ 22.1	▲ 43	▲ 1.2
	タ	カラバ	イオ	グル -	ー プ	6,274	811	+14.8	74	+1.2
	そ		の		他	2,018	64	+3.3	▲ 16	▲ 0.8
	調		整		額	▲ 164	▲ 69	_	194	_
営		業		利	益	15,836	▲ 1,967	▲ 11.1	536	+3.5

為替レー	-卜影響額
前期比	2/13予想比
_	_
▲ 3,072	_
▲ 787	_
_	_
_	_
▲ 3,852	_

TaKaRa

5

2020年3月期 宝ホールディングス (連結) 業績

連結損益計算書(営業利益~親会社株主に帰属する当期純利益)

									2020年3月期	前其	明比	2/13 🖥	想比
									実績	増減	率(%)	増減	率(%)
営			業		拜	制		益	15,836	▲ 1,967	▲ 11.1	536	+3.5
	受	取	利	息	•	配	当	金	911	110	+13.9	111	+13.9
	そ	の	他	営	業	外	収	益	547	▲ 113	▲ 17.2	▲ 52	▲ 8.8
営		業		外		収		益	1,458	▲ 2	▲ 0.2	58	+4.2
	支		払			利		息	403	16	+4.3	3	+1.0
	そ	の	他	営	業	外	費	用	621	102	+19.9	21	+3.6
営		業		外		費		用	1,025	119	+13.2	25	+2.5
経			常		Ŧ	制		益	16,269	▲ 2,089	▲ 11.4	569	+3.6
特			別		Ŧ	i]		益	1,473	776	+111.5	273	+22.8
特			別		拍	員		失	2,099	701	+50.2	599	+40.0
税	金	等	周 整	前	当	期糸	电 利	益	15,643	▲ 2,014	▲ 11.4	243	+1.6
法			人		Ŧ.	兑		等	4,952	▲ 358	▲ 6.8	▲ 247	▲ 4.8
当		期		純		利		益	10,691	▲ 1,656	▲ 13.4	491	+4.8
非	支配	株主	ミにり	帚属	する	当期	純和	益	1,710	▲ 225	▲ 11.6	110	+6.9
親	会社	株主	ミにり	帚属	する	当期	純和	益	8,980	▲ 1,430	▲ 13.7	380	+4.4



2020年3月期 宝ホールディングス (連結) 業績

連結貸借対照表^(百万円)

	2019年3月末	2020年3月末	増減		2019年3月末	2020年3月末	増減
流 動 資 産	175,011	168,820	▲ 6,191	流 動 負 債	57,822	55,466	▲ 2,355
現金及び預金	49,415	47,265	▲ 2,150	支払手形及び買掛金	16,374	16,440	65
受取手形及び売掛金	59,780	61,017	1,237	借入金·社債	9,960	9,787	▲ 173
有 価 証 券	16,089	7,352	▲ 8,736	そ の 他	31,487	29,238	▲ 2,248
たな卸資産	46,035	48,976	2,941	固 定 負 債	49,489	47,086	▲ 2,402
そ の 他	3,690	4,207	517	借入金·社債	30,415	25,448	▲ 4,967
 固 定 資 産	112,094	115,061	2,966	そ の 他	19,073	21,637	2,564
有 形 固 定 資 産	60,576	69,835	9,258	負 債 合 計	107,311	102,553	▲ 4,758
無形固定資産	19,914	18,700	▲ 1,214	株主資本合計	139,064	142,563	3,499
の れ ん	12,400	11,750	▲ 650	資本金・資本剰余金	15,643	15,680	36
そ の 他	7,514	6,950	▲ 563	利 益 剰 余 金	124,788	128,564	3,776
投資その他資産	31,603	26,525	▲ 5,077	自己株式	▲ 1,368	▲ 1,682	▲ 313
投 資 有 価 証 券	26,143	21,720	▲ 4,422	その他包括利益累計額	9,133	5,199	▲ 3,934
そ の 他	5,459	4,804	▲ 655	非 支 配 株 主 持 分	31,597	33,566	1,969
資 産 合 計	287,106	283,882	▲ 3,224	純 資 産 合 計	179,795	181,329	1,534

設備投資額、減価償却費、のれん償却費

												2020年3月期	前期	胡比
												実績	増減	率(%)
設	備	投	資	額	(有	形	•	無	形)	14,195	+3,524	+33.0
減	価	償	却	費	(有	形	•	無	形)	7,626	+1,136	+17.5
の		れ		h		1	賞		却		費	847	▲ 18	▲ 2.1



7

2020年3月期 宝ホールディングス (連結) 業績

連結キャッシュ・フロー計算書

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減
営業キャッシュ・フロー	13,508	11,744	▲ 1,763
税 金 等 調 整 前 純 利 益	17,658	15,643	▲ 2,014
減 価 償 却 費 等	8,052	9,354	1,301
運転資本の増減	▲ 7,033	▲ 8,160	▲ 1,126
法人税等の支払額	▲ 6,586	▲ 4,955	_
そ の 他	1,417	1,626	1,839
投資キャッシュ・フロー	▲ 9,213	▲ 3,690	5,522
有形・無形固定資産の取得	▲ 10,671	▲ 12,121	▲ 1,449
投資有価証券の売却による収入	33	1,636	1,602
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	▲ 53	350	404
そ の 他	1,477	6,442	4,965
フリー・キャッシュフロー	4,295	9,817	5,522
財務キャッシュ・フロー	▲ 4,243	▲ 11,653	▲ 7,410
有 利 子 負 債 の 増 減	▲ 394	▲ 5,072	▲ 4,677
自己株式の取得による支出	▲ 0	▲ 2,000	▲ 1,999
配当金の支払額	▲ 3,191	▲ 3,589	▲ 398
そ の 他	▲ 657	▲ 991	▲ 334
現金及び現金同等物為替換算差額	▲ 812	▲ 439	373
現 金 及 び 現 金 同 等 物 増 減	▲ 760	▲ 4,039	▲ 3,278
現金及び現金同等物期首残高	49,341	48,580	▲ 760
現金及び現金同等物期末残高	48,580	44,541	▲ 4,039



2020年3月期 宝酒造 業績

損益計算書(売上高~営業利益)

(百万円)

									2020年3月期	前	钥比
									実績	増減	率(%)
	焼							酎	49,728	▲ 3,653	▲ 6.8
	清							酒	20,488	▲ 906	▲ 4.2
	ソ	フト	ア.	ル =	ı –	・ル	飲	料	43,023	4,245	+10.9
	そ	σ,)	他		酒		類	6,405	▲ 77	▲ 1.2
	本		み		IJ			ん	13,980	111	+0.8
	そ	の	他	ļ.	調	味	ŧ	料	10,330	616	+6.3
	原	料用	ア	ル	⊐	_	ル	等	9,183	347	+3.9
売				L				高	153,141	683	+0.4
売		Ŧ	:		原			価	92,822	1,380	+1.5
売		上	á	総		利		益	60,318	▲ 697	▲ 1.1
	運			送				費	8,142	529	+7.0
	広	告	i	宣		伝		費	1,882	▲ 512	▲ 21.4
	販	壳	5	促		進		費	33,844	1,186	+3.6
	研	穷	2	開		発		費	382	14	+4.0
	管	理	費		7	-	の	他	11,890	▲ 141	▲ 1.2
販	売	費及	いび	-	般	管	理	費	56,142	1,075	+2.0
営		業			利			益	4,175	▲ 1,772	▲ 29.8

売上総利益増減 内訳

			前期増減	
			数量差	単価差
売上総利益	ā†	▲697	▲95	▲602
主な内訳	焼酎	▲1,497	▲1,428	▲69
	清酒	▲ 547	▲361	▲183
	ソフトアルコール飲料	+1,550	+1,499	+50
	本みりん	▲48	+72	▲120
	(参考)原価コストダウン	▲ 867	※上記数量差および	が単価差に含む



9

2020年3月期 宝酒造インターナショナルグループ 業績

損益計算書(売上高~営業利益)

								2020年3月期	前期	明比
								実績	増減	率(%)
	海		外		酒		類	11,365	607	+5.6
	海	外	日	本	食	材	卸	73,371	4,417	+6.4
	そ			の			他	204	142	+226.8
	連		結		消		去	▲ 2,175	▲ 235	_
売				E .			高	82,765	4,931	+6.3
売			上		原		価	58,882	4,058	+7.4
売		上		総	禾	ıj 💮	益	23,883	872	+3.8
	運			送			費	2,656	379	+16.7
	広	É	<u></u>	宣	•	伝	費	84	▲ 26	▲ 23.8
	販	5	売	促	:	進	費	756	21	+3.0
	管	理	費	•	そ	の	他	16,854	1,497	+9.8
販	売	費	及び	-	般	管 理	費	20,351	1,872	+10.1
	海		外		酒		類	2,339	356	+18.0
	海	外	日	本	食	材	卸	2,735	1,186	▲ 30.2
	そ			の			他	▲ 853	82	_
	連		結		消		去	▲ 689	▲ 252	_
営			業		利		益	3,532	▲ 1,000	▲ 22.1

為替レー	-卜影響額
前期比	2/13予想比
▲ 308	_
▲ 2,785	_
_	_
22	_
▲ 3,072	_



I. 2020年3月期決算 および 2021年3月期業績予想

2. 2021年3月期業績予想

2021年3月期 宝ホールディングス (連結) 業績予想

連結損益計算書
(百万円)

						2021年3月期	前非	胡比
						通期予想	増減	率(%)
	宝		酒		造	155,157	2,015	+1.3
	宝氵	酉造インタ	ーナシ	ョナルグ	ループ	70,530	▲ 12,235	▲ 14.8
	タ	カラバ	イ オ	グ ル	ー プ	33,800	▲ 765	▲ 2.2
	そ		の		他	31,716	▲ 85	▲ 0.3
	調		整		額	▲ 21,203	▲ 120	_
売			上		高	270,000	▲ 11,191	▲ 4.0
売		上		原	価	163,700	▲ 8,874	▲ 5.1
売		上	総	利	益	106,300	▲ 2,317	▲ 2.1
	運		送		費	11,100	99	+0.9
	広	告	宣	伝	費	2,100	48	+2.4
	販	売	促	進	費	35,000	▲ 73	▲ 0.2
	研	究	開	発	費	5,300	1,040	+24.4
	管	理費		そ 0	り他	42,800	2,404	+6.0
販	売	費及	び ー	般管	理費	96,300	3,518	+3.8
	宝		酒		造	4,285	109	+2.6
	宝氵	酉造インタ	ーナシ	ョナルグ	ループ	145	▲ 3,387	▲ 95.9
	タ	カラバ	イオ	グル	ー プ	4,500	▲ 1,774	▲ 28.3
	そ		の		他	1,968	▲ 50	▲ 2.5
	調		整		額	▲ 898	▲ 733	_
営		業		利	益	10,000	▲ 5,836	▲ 36.9
経		常		利	益	10,200	▲ 6,069	▲ 37.3
親	会社	t 株主に』	帚属する	る当期糸	吨 利 益	5,100	▲ 3,880	▲ 43.2





2021年3月期 宝酒造 業績予想

損益計算書(売上高~営業利益)

(百万円)

									2021年3月期	前排	明比
									通期予想	増減	率(%)
	焼							酎	47,563	▲ 2,165	▲ 4.4
	清							酒	19,047	▲ 1,441	▲ 7.0
	ソ	フト	ア	ル		・ル	飲	料	48,467	5,443	+12.7
	そ	σ)	他		酒		類	5,825	▲ 580	▲ 9.1
	本		H		IJ			h	14,108	127	+0.9
	そ	の	ft	b	調	味	ŧ	料	10,566	235	+2.3
	原	料用	ア	ル	⊐	_	ル	等	9,581	397	+4.3
売				上				高	155,157	2,015	+1.3
売		١	=		原			価	94,071	1,248	+1.3
売		上		総		利		益	61,086	767	+1.3
	運			送				費	8,499	356	+4.4
	広	告	i	宣		伝		費	1,971	88	+4.7
	販	壳	•	促		進		費	33,936	91	+0.3
	研	究	:	開		発		費	486	103	+26.9
	管	理	費		そ		の	他	11,909	18	+0.2
販	売	費及	え び	: <u> </u>	般	管	理	費	56,801	658	+1.2
営		身	*		利			益	4,285	109	+2.6

売上総利益増減 内訳

			前期増減	
			数量差	単価差
売上総利益	E #1	+767	+1,663	▲ 895
主な内訳	焼酎	▲ 878	▲ 788	▲ 89
	清酒	▲ 777	▲ 439	▲ 337
	ソフトアルコール飲料	+2,210	+2,244	▲ 34
	本みりん	▲ 68	+55	▲ 124
	(参考)原価コストダウン	▲ 280	※上記数量差および	び単価差に含む



13

2021年3月期 宝酒造インターナショナルグループ 業績予想

損益計算書(売上高~営業利益)

									2021年3月期	前	期比
									通期予想	増減	率(%)
	海		þ	†		酒		類	9,957	▲ 1,408	▲ 12.4
	海	外	E	3	本	食	ŧ	才 卸	62,546	▲ 10,825	▲ 14.8
	そ				の			他	68	▲ 136	▲ 66.8
	連		糸	吉		消		去	▲ 2,041	134	_
売					E			高	70,530	▲ 12,235	▲ 14.8
売			上			原		価	49,244	▲ 9,638	▲ 16.4
売		上		糸	忩		利	益	21,286	▲ 2,597	▲ 10.9
	運				送			費	2,347	▲ 309	▲ 11.6
	広		告		宣		伝	費	92	7	+9.0
	販		売		促		進	費	731	▲ 25	▲ 3.3
	管	理	乽	貴		そ	0	ひ 他	17,971	1,116	+6.6
販	売	費	及	び	_	般	管	理 費	21,141	789	+3.9
	海		þ	†		酒		類	1,784	▲ 555	▲ 23.7
	海	外	E	3	本	食	ħ	才 卸	21	▲ 2,714	▲ 99.2
	そ				の			他	▲ 1,165	▲ 311	_
	連		糸	吉		消		去	▲ 495	194	_
営			業			利		益	145	▲ 3,387	▲ 95.9





2021年3月期業績予想における新型コロナウイルスの影響

宝グループ連結の業績予想は新型コロナウイルス感染拡大による影響が 2020年7月頃*まで続くという前提の下で策定

<2021年3月期業績予想における影響額>

(単位:億円)

			売上高	営業利益	
宝	グル	ノープ計	▲ 194	▲ 64	
	宝	酒造	1.6	0	
	宝	酒造インターナショナルG	▲ 165	▲ 41	
		海外酒類事業	▲ 15	A 5	
		海外日本食材卸事業	▲ 150	▲ 35	
	Яt	コラバイオG	▲ 27	▲ 23	
	国	内グループ会社	A 5	A 0	
	連	結修正等	2	0	



*会社ごと・国ごとに多少の前後あり 15

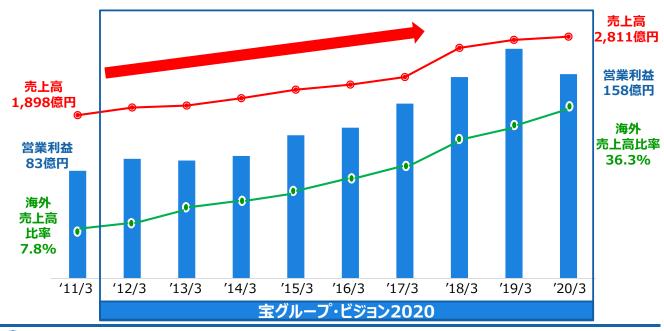
Ⅱ. 長期経営構想

1. 長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」 振り返り

長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」振り返り

「宝グループ・ビジョン2020」(2011年4月~2020年3月)

国内外の強みを活かせる市場で事業を伸ばし、 環境変化に強いバランスのとれた事業構造を確立する。



園TaKaRa

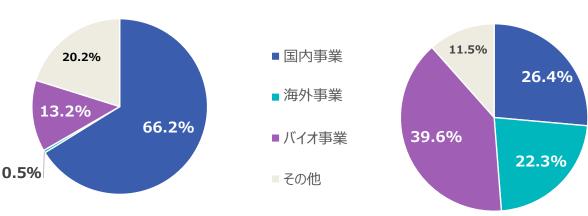
17

長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」振り返り

海外事業とバイオ事業を大きく伸長させ、 利益面で3事業のバランスがとれた事業構造へと進化

◆2011年3月期と2020年3月期の事業別営業利益構成比





※宝酒造インターナショナル分社化前のため一部参考値



長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」振り返り

長期経営ビジョン期間に実現できたこと

国内事業

- ・長期経営ビジョン前は3位であった清酒販売数量で1位を達成
- ・国内酒類市場縮小のなか、ソフトアルコール飲料を中心とした売上の伸長

海外事業

- ・世界的な日本食人気を追い風とした積極的な投資で、海外日本食材卸事業を飛躍的に拡大
- ・2017年7月に宝酒造インターナショナルを設立し、迅速で的確な意思決定と グローバル拠点を含めた事業基盤の整備・強化を行う体制を構築

バイオ事業

- ・遺伝子・細胞プロセッシングセンター稼働によるCDMO事業の拡大
- ・遺伝子医療事業における収益化の実現

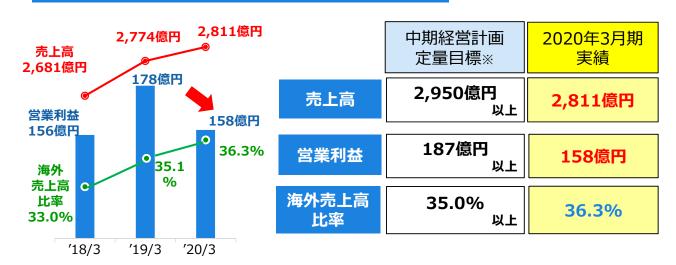


19

「宝グループ中期経営計画2019」振り返り

中期経営計画2019の定量目標に対しては、 海外売上高比率を達成するも、売上高および営業利益は未達

◆業績推移および定量目標と当期実績の比較



※ 2018年5月上方修正後の数値



「宝グループ中期経営計画2019」振り返り

各事業での問題点および課題の方向性

問題点

課題

国内事業

- ・数量志向への偏重
- 新商品の育成遅れ
- コストアップへの対策不十分
- 利益志向への転換
- 付加価値型商品の開発、育成
- コストアップへの対応強化

海外事業

- 和酒の販売は拡大するものの、 市場と比べ物足りない伸び
- 海外日本食材卸市場での競争 激化による利益率低下
- 経営基盤や事業基盤の未整備
- シナジー等活用した和酒のさらなる拡大
- 海外日本食材卸事業全体の競争力を 高める商品調達機能確立
- 内部統制、業績管理、仕入れ為替リスク対応等の管理面強化

バイオ事業

- 買収した理化学機器事業の計画未達
- 遺伝子治療薬の上市遅延
- 理化学機器事業の製造、研究開発体制の再編、販売戦略の見直し
- 提携プロジェクトの着実な推進、創薬アライアンスの加速と、新規臨床プロジェクト立ち上げ



21

「宝グループ中期経営計画2019」振り返り

財務方針

健全な財務体質を維持しながら、成長投資を行うとともに、適切な株主還元を実施することによってROEを向上させ、適正な株価水準を実現する。

成長投資

中期経営計画2019の3年間で、約160億円の成長投資を実施

国内事業

- 千葉県松戸工場の缶製品充填設備
- > 宮崎県黒壁蔵の石蔵貯蔵庫建設

海外事業

- ▶ ミューチャルトレーディング社 物流倉庫拡張
- ▶ 東京共同貿易社 連結子会社化

バイオ事業

▶ 遺伝子・細胞プロセッシングセンター 2 号棟新設



「宝グループ中期経営計画2019」振り返り

株主還元

配当方針に則り安定的な配当を実施するとともに、自己株式の取得等にも機動的に対応

配当方針 : みなし配当性向=配当総額/(連結営業利益×(1-法定実効税率)) ≒30%

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	3か年累計
配当総額(百万円)	3,194	3,593	3,954	10,742
みなし配当性向	29.6%	29.3%	36.2%	31.6%
自己株式取得数(千株)	1,592	_	1,925	3,517
自己株式取得総額(百万円)	2,000	_	2,000	4,000
ROE	7.9%	7.1%	6.1%	7.0%



23

Ⅱ. 長期経営構想

2. 長期経営構想 「TaKaRa Group Challenge for the 100th」

今後の経営環境

国内事業

- ▶ 国内飲酒人口の減少および若年層の酒離れ
- ▶ 酒税法改正
- ▶ 中食を中心とした調味料市場の拡大

海外事業

- > 世界的な日本食市場の拡大
- ▶ 日本産清酒のさらなる需要の高まり

バイオ事業

▶ 再生・細胞医療周辺産業およびバイオ産業の市場規模拡大

共通

- > コストの高騰、高止まり
- ➤ ESGやSDGsに関する様々な社会・環境課題への対応要請の高まり



25

長期経営構想「TGC100」

長期経営構想

TaKaRa Group Challenge for the 100th (TGC100)

グループとして将来のありたい姿を定め 100周年を迎える2025年(2026年3月期)をマイルストンとした、 6年間の経営計画

Vision

笑顔で繋がる豊かな暮らしを ~Smiles in Life~

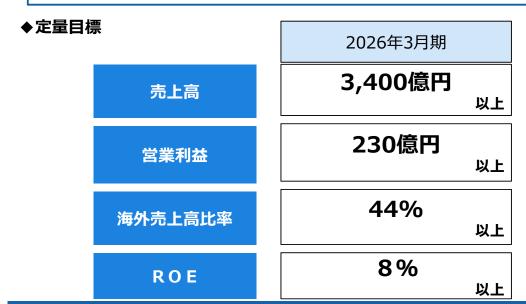
宝グループは、おいしさを追求する技術と革新的なバイオ技術によって 和酒・日本食とライフサイエンスにおける多様な価値を 安全・安心に提供し続ける企業グループとなることで 人と人の繋がりと笑顔にあふれた健康的で豊かな日々の暮らしへの貢献を目指します。



長期経営構想「TGC100」

◆経営方針

技術力、商品力、ブランド力をさらに向上させ、



園TaKaRa

27

長期経営構想「TGC100」

◆事業戦略

国内事業

国内の和酒No.1メーカーのポジションを活用した付加価値経営への変革によって、着実に利益成長できる事業基盤を再構築し、企業イメージを向上させてグローバル和酒No.1企業(※1)としての根幹を支える。

海外事業

グローバルな和酒の拡大を加速させるとともに、海外日本食材卸のネットワークの拡充を進めながら、国内外でのグループシナジーをさらに発揮し、海外における和酒・日本食材No.1企業(※2)を目指す。

国内·海外 共通目標

国内事業と海外事業が協業することで、一体感を持って「グローバル 和酒・日本食材No.1企業(※3)」を目指す。

※1:国内+海外(輸出+現地生産)で和酒No.1

※2:海外(輸出+現地生産)和酒No.1+海外日本食材卸No.1

※3: グローバル和酒No.1+海外日本食材卸No.1



長期経営構想「TGC100 |

◆事業戦略

バイオ事業

研究用試薬・機器事業とCDMO事業を通じ、バイオ創薬基盤技術開発を進め、新モダリティ(治療法)を創出し続ける創薬企業を目指す。

その他 (国内グループ会社) 宝グループ内における位置付けや担う役割から明確にされた各社の ミッションを確実に遂行し、グループの業績と企業価値向上に貢献する。

経営基盤

グローバルにグループ経営をリードし、グループの企業価値と一体感を 高めるためのコーポレート機能を強化するとともに、コーポレート部門の 効率性を向上する。

TaKaRa

29

長期経営構想「TGC100」

長期経営構想のVisionの実現に向け、財務面では中期経営計画に基づく事業活動、非財務面では「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」に基づく取り組みを推進する。

<「Vision」「中期経営計画」「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」の関係性>

Vision(ありたい姿) 笑顔で繋がる豊かな暮らしを ~Smiles in Life~

中期経営計画に基づく事業活動の推進

宝グループ・サステナビリティ・ポリシー に基づく取り組みの推進

財務面

非財務面



Ⅱ. 長期経営構想

3. 「宝グループ中期経営計画2022」

「宝グループ中期経営計画2022」

◆基本方針

環境変化の兆しを掴みとり、強化すべき領域へ適切な経営資源の配分と投下を行い、収益力を高める多様な「価値」を生み出し続ける事業構造とグローバルなコーポレート機能の再構築を推し進めることで、国内外での持続的な成長の実現とグループの企業価値向上に向けて足元を固める。

◆定量目標		2023年3月期
	売上高	3,000億円 以上
	営業利益	174億円 以上
	海外売上高 比率	39.0%
	ROE	7% 以上



「宝グループ中期経営計画2022」各事業の重点戦略

国内事業

- ① 和酒No.1企業としての強みを活かした、利益創出型の企業体質への進化
- ② お客様のニーズを捉え、利益の視点を高めた商品開発・育成の推進
- ③ お客様の需要を喚起する効率的な育成策の継続によるブランド価値の向上
- ④ 稼働率平準化を中心とした、全体最適視点でのコスト削減の推進
- ⑤ 製造委託先や海外グループ会社での品質管理体制の強化

◆商品カテゴリー毎のアクションプラン





33

「宝グループ中期経営計画2022」各事業の重点戦略

海外事業

- ① 清酒を中心としたグローバルな和酒拡大の加速
- ② 海外日本食材卸網の拡充と商品調達力の強化
- ③ 海外日本食材卸事業と海外酒類事業のシナジーの発揮
- ④ 海外グループ会社の管理面の強化

◆事業別のアクションプラン

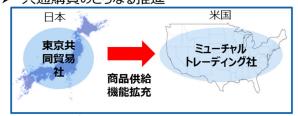
[海外酒類事業]

- ▶ 「澪」と特定名称酒を中心とした、さらなる清酒の輸出拡大
- ▶ 輸出専用商品含む現地ニーズに沿った新商品の開発・育成



【海外日本食材卸事業】

- 卸ネットワークの新規エリアへのさらなる拡充による事業規模の拡大
- ▶ 海外日本食材卸事業全体の競争力向上に向けた商品開発や仕入機能の強化
- <東京共同貿易社のグループ化>
- ▶ 共通購買のさらなる推進



拡大する卸ネットワークを活用した和酒販売の拡大



「宝グループ中期経営計画2022」各事業の重点戦略

バイオ事業

- ① 「研究用試薬・理化学機器事業」と「CDMO事業」の持続的成長
- ② 創薬アライアンスの加速と臨床プロジェクトの新規創出
- ③ 伸長するグローバル市場での事業展開の加速

◆各事業・プロジェクトのアクションプラン

【研究用試薬事業】

開発効率向上と製造体制の強化および地域特性を考慮した「グローカル」な販売戦略構築

【理化学機器事業】

専用試薬を含めたアプリケーション開発の実施、産業・医療分野向けのPCR関連製品の拡販

【CDMO事業】

「遺伝子細胞プロセッシングセンター2号棟」の活用による受託サービス事業の拡大

【創薬アライアンス】

NY-ESO-1・siTCR、C-REV、CD19・CARの 各プロジェクトの早期上市

【新規臨床開発プロジェクト】

CEA-GITR・CAR、CD19-JAK/STAT・CAR プロジェクトの治験早期開始とあらたな複数の遺 伝子治療プロジェクトの開発



<遺伝子細胞プロセッシングセンター2号棟>

運TaKaRa

35

「宝グループ中期経営計画2022」

財務方針

- ▶ 健全な財務体質の維持をベースに、投資効率の向上を意識した成長投資を行うとともに、収益性や効率性を改善し、ROEの向上をはかる。
- ▶ 持続的な利益成長を踏まえた適切な株主還元を実施する。

ROE向上施策

- 運転資本回転率の向上による営業CF増加
- > 政策保有株式の機動的な売却
- ▶ 積極的な成長投資による利益向上

株主還元方針

持続的な利益成長に合わせて、配当性向で 30%台後半となる安定的な配当を継続。加 えて、機動的な自己株式取得の実施

> 21年3月期(予想)1株あたり配当20円 配当性向:77.5%

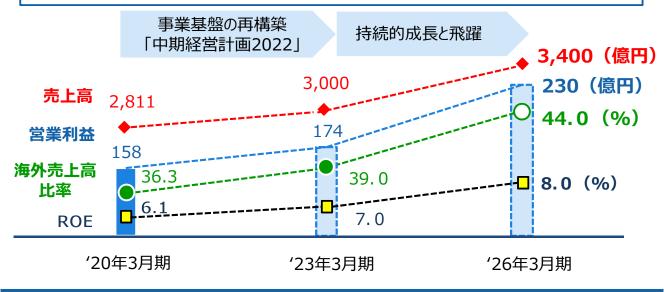


長期経営構想「TGC100」 最終年度に向けて

笑顔で繋がる豊かな暮らしを ~Smiles in Life~

宝グループは、おいしさを追求する技術と革新的なバイオ技術によって、 和酒・日本食とライフサイエンスにおける多様な価値を 安全・安心に提供し続ける企業グループとなることで、

人と人の繋がりと笑顔にあふれた健康的で豊かな日々の暮らしへの貢献を目指します。



BTaKaRa

37

Ⅱ. 長期経営構想

4. 「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」

「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」概要

◆基本的な考え方(一部抜粋)

近年、当社グループを取り巻く社会環境は急速に変化し、気候変動、生物多様性保全、資源保全、人権尊重といった多様な課題への対応が世界的規模で求められており、持続可能な社会づくりに向けた企業の責任はますます大きくなっています。

当社グループは、長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100th」のなかで、人と人の繋がりと、笑顔にあふれた健康的で豊かな日々の暮らしの実現に貢献することを宣言しています。事業活動を通じた社会的価値の創造を将来にわたって実現し続けていくためには、様々な社会課題の解決にこれまで以上に取り組む必要があるという認識のもと、今般、長期経営構想に合わせ「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」を策定しました。

「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」では、当社グループを取り巻く社会課題について、ステークホルダーからの期待度と当社グループの事業への影響度を考慮し、「安全・安心」をはじめとする10の重要課題(マテリアリティ)を取り上げ、各々についての取り組み方針を示しています。

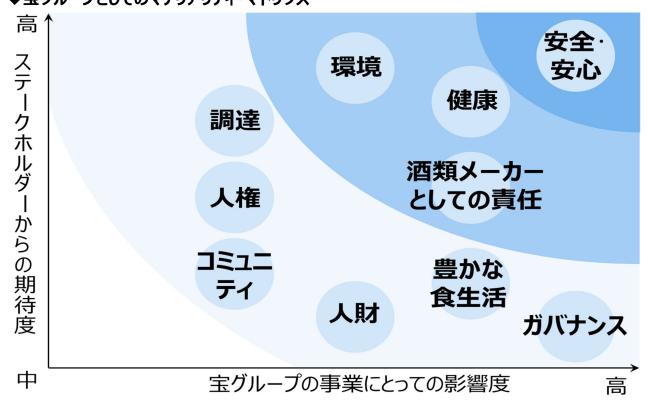
今後、これらの方針に基づいて取り組みをさらに進めるとともに、長期の目標策定にも取り組んでまいります。

BTaKaRa

39

「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」概要

◆宝グループとしてのマテリアリティ・マトリクス



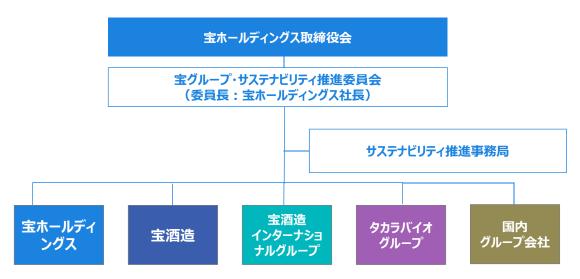
園TaKaRa

推進体制

◆推進体制

代表取締役社長を委員長とした宝グループ・サステナビリティ推進委員会を設置し、各種の取り組みを進める。

<委員会の構成>



TaKaRa

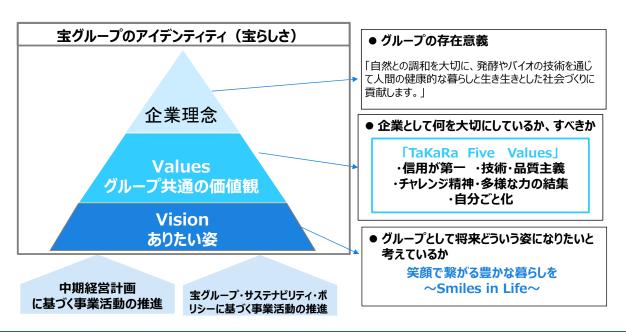
41

Ⅱ. 長期経営構想

5. 最後に

宝グループのアイデンティティ(宝らしさ)

事業領域が拡大するなか、グループの存在意義である「企業理念」のもと、 グループ全体で大切にしていく価値観を「Values」として定め、 世界中のグループ社員がこれを共有し、企業活動を推進していく。



TaKaRa

43

新型コロナウイルス感染症に関する 対応方針と取り組みについて

1. 新型コロナウイルス感染症に関する宝グループの対応方針

- この緊急事態を乗り越えるために、従業員とその家族ならびに宝グループの事業活動を 支えてくださるステークホルダーの安全と健康を最優先します。
- 感染予防策に万全を期したうえで、食と健康に必要な製品・商品・サービスを各国・地域の方針に従い、お客様にお届けする責任を果たしていきます。

2. 感染拡大防止への対応

■ 国内外の従業員とその家族の安全と健康を守ることを最優先に、感染予防策を徹底し、安全な環境を整備したうえで、事業活動の維持・継続に必要な担当者などを除いて、原則として在宅勤務や時差出勤を実施するなどの対策を講じています。

3. 社会要請への対応

- 手指消毒用エタノールの供給(宝酒造)
- PCR検査用試薬をはじめとした研究用試薬類の供給(タカラバイオ)
- 予防用 D N A ワクチン開発に協力 (タカラバイオ)

45

4. トップメッセージ(代表取締役社長 木村 睦)

新型コロナウイルスの感染が世界中で拡大するなか、未だに収束の目途が立たず先行きが不透明な状況下にあります。直近では経済活動再開の動きがあり、また、有効な治療法の確立に向けた取り組みも進められてはいるものの、感染拡大防止に向けた対応は長期化することが懸念されます。

この未曾有の事態に際し、当社グループは、グローバルに働く従業員およびその家族をはじめ、お客様、お得意先・お取引先など、すべてのステークホルダーの皆様の安全と健康を最優先に考え、感染拡大防止に向けた取り組みを実施しています。

また、従業員を大切にするという当社グループとしての考えに基づき、可能な限りの従業員支援をグループ全体で行っていきます。

新型コロナウィルスの感染が収束した後の社会では多くの変化が起こると予想され、様々な社会課題と向き合わなければなりません。宝グループが掲げる「自然との調和を大切に、発酵やバイオの技術を通じて人間の健康的な暮らしと生き生きとした社会づくりに貢献します」という企業理念に基づいた事業活動のよりいっそうの実践が、社会から求められていくものと考えます。

宝グループの持てる技術を結集し、すべてのステークホルダーの皆様と協力することで、この危機的な状況を乗り越えられるよう、企業としての責任を果たしてまいります。

将来見通しに関する注意事項

この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

くお問合せ先> 宝ホールディングス株式会社 財務・I R部 E-Mail <u>ir@takara.co.jp</u> TEL 075-241-5124

参考資料

- ·宝HLD連結_包括利益計算書
- ・2021年3月期第2累計業績予想 (宝HLD連結、宝酒造、宝酒造インターナショナルG)
- ・為替レート前提
- ・粗留アルコール輸入通関(CIF)価格の推移

2020年3月期 宝ホールディングス (連結) 包括利益計算書

(百万円)

		2019年3月期	2020年3月期	
		実績	実績	増減
当	期 純 利 益	12,347	10,691	▲ 1,656
そ	の 他 の 包 括 利 益 合 計	▲ 5,098	▲ 4,223	874
	その他有価証券評価差額金	1 ,705	▲ 2,689	▲ 984
	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	228	▲ 30	▲ 258
	為 替 換 算 調 整 勘 定	▲ 3,646	▲ 1,160	2,486
	退職給付に係る調整額	25	▲ 343	▲ 368
包	括 利 益	7,249	6,467	▲ 781
	(内 訳)			
	親会社株主に係る包括利益	6,083	5,046	▲ 1,036
	非支配株主に係る包括利益	1,166	1,421	255



49

2021年3月期 宝ホールディングス (連結) 第2四半期累計期間 業績予想

						2021年3月期	前期	胡比
						第2四半期累計	増減	率(%)
	宝		酒		造	74,428	▲ 707	▲ 0.9
	宝河	酉造インタ	ーナショ	ョナルグ	ループ	26,355	▲ 14,122	▲ 34.9
	タ	カラバ	・ イ オ	グル	ー プ	14,365	▲ 2,085	▲ 12.7
	そ		の		他	14,889	▲ 881	▲ 5.6
	調		整		額	▲ 10,037	293	_
売			上		高	120,000	▲ 17,502	▲ 12.7
売		上		原	価	73,400	11,068	▲ 13.1
売		上	総	利	益	46,600	▲ 6,433	▲ 12.1
	運		送		費	4,900	▲ 306	▲ 5.9
	広	告	宣	伝	費	1,000	47	+5.0
	販	売	促	進	費	17,100	88	+0.5
	研	究	開	発	費	2,600	542	+26.4
	管	理 費	t.	そ 0	の 他	20,700	517	+2.6
販	売	費及	び ー	般管	理 費	46,300	889	+2.0
	宝		酒		造	954	▲ 1,128	▲ 54.2
	宝河	西造インタ	ーナシ	ョナルグ	ループ	▲ 1,952	▲ 3,517	_
	タ	カラバ	・ イ オ	グ ル	ー プ	619	▲ 2,416	▲ 79.6
	そ		の		他	823	▲ 258	▲ 23.9
	調		整		額	▲ 144	▲ 3	_
営		業		利	益	300	▲ 7,323	▲ 96.1
経		常		利	益	400	▲ 7,471	▲ 94.9
親	会社	株主に帰	帰属する	四半期	純利益	0	▲ 4,374	-



2020年3月期 宝酒造 第2四半期累計期間 業績予想

(百万円)

							2021年3月期	前其	期比
							第2四半期累計	増減	率(%)
	焼					酎	24,119	▲ 857	▲ 3.4
	清					酒	7,150	▲ 1,152	▲ 13.9
	ソ	フト	アルコ		ル飲	料	24,057	2,312	+10.6
	そ	の	他	涩	5	類	2,754	▲ 505	▲ 15.5
	本		み	Ŋ		h	6,509	▲ 688	▲ 9.6
	そ	の	他	調	味	料	5,064	▲ 76	▲ 1.5
	原	料用	アル		- ル	等	4,775	260	+5.8
売			上			高	74,428	▲ 707	▲ 0.9
売		上		原		価	45,710	124	+0.3
売		上	総	利		益	28,717	▲ 832	▲ 2.8
	運		送			費	3,983	20	+0.5
	広	告	宣	位	<u> </u>	費	931	55	+6.3
	販	売	促	i	<u>É</u>	費	16,691	259	+1.6
	研	究	開	多	Ě	費	242	46	+23.6
	管	理	費、	そ	の	他	5,916	▲ 86	▲ 1.4
販	売	費及	びー	般	章 理	費	27,763	295	+1.1
営		業		利		益	954	▲ 1,128	▲ 54.2



51

2021年3月期 宝酒造インターナショナルグループ 第2四半期累計期間 業績予想

								2021年3月期	前其	胡比
								第2四半期累計	増減	率(%)
	海		外		酒		類	4,011	▲ 1,422	▲ 26.2
	海	外	日	本	食	材	卸	23,173	▲ 12,924	▲ 35.8
	そ			の			他	44	▲ 135	▲ 75.5
	連		結		消		去	▲ 873	360	_
売				上			高	26,355	▲ 14,122	▲ 34.9
売			上		原		価	18,507	▲ 10,487	▲ 36.2
売		上		総	₹	削	益	7,848	▲ 3,635	▲ 31.7
	運			送			費	855	▲ 348	▲ 29.0
	広	f	告	宣		伝	費	41	0	+0.0
	販	5	売	促		進	費	278	▲ 56	▲ 16.9
	管	理	費	•	そ	の	他	8,626	287	+3.4
販	売	費	及び	_	般	管 玛	費	9,800	▲ 118	▲ 1.2
	海		外		酒		類	508	▲ 475	▲ 48.3
	海	外	日	本	食	材	卸	▲ 1,628	▲ 2,995	_
	そ			の			他	▲ 563	▲ 198	_
	連		結		消		去	▲ 269	151	_
営			業		利		益	▲ 1,952	▲ 3,517	_

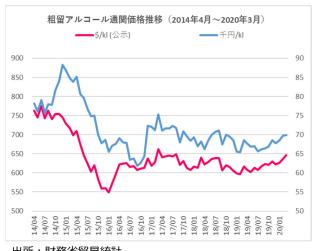


	2019年3月期 (2018年1月-12月)	2020年3月期 (2019年1月-12月)		2021年3月期 (2020年1 <mark>月-12月)</mark>	
(単位:円)	実績	実績	前期差	予想	前期差
米ドル	110.45	109.03	▲ 1.42	105.00	▲ 4.03
ポンド	147.40	139.19	▲ 8.21	136.00	▲ 3.19
ユーロ	130.35	122.03	▲ 8.32	119.00	▲ 3.03
人民元	16.71	15.77	▲ 0.94	14.80	▲ 0.97
100ウォン	10.04	9.36	▲ 0.68	8.80	▲ 0.56
インドルピー	1.62	1.55	▲ 0.07	1.50	▲ 0.05
スウェーテ゛ンクローナ	12.71	11.53	▲ 1.18	11.90	+ 0.37
シンカ゛ホ゜ールト゛ル	81.86	79.93	▲ 1.93	76.10	▲ 3.83
オーストラリアト゛ル	82.55	75.78	▲ 6.77	71.30	▲ 4.48



53

粗留アルコール輸入通関(CIF)価格の推移



	2019年	₹3月期	2020年	₹3月期	前期	差
	千円/kl	\$/kl	千円/kl	\$/kl	千円/kl	\$/kl
4月	66.1	622.2	67.6	608.0	1.5	▲ 14.2
5月	68.5	628.3	66.9	602.2	▲ 1.6	▲ 26.0
6月	70.0	636.9	66.9	613.7	▲ 3.0	▲ 23.2
7月	70.7	638.6	65.6	607.6	▲ 5.1	▲ 31.0
8月	71.1	638.5	66.2	617.4	▲ 4.9	▲ 21.1
9月	67.5	606.8	66.5	623.0	▲ 1.0	16.2
10月	70.0	619.9	66.9	620.9	▲ 3.1	1.0
11月	69.6	615.8	68.5	630.1	▲ 1.0	14.3
12月	68.5	605.7	67.8	621.9	▲ 0.8	16.2
1月	65.5	598.7	68.5	626.5	2.9	27.8
2月	65.4	596.2	69.7	636.6	4.3	40.5
3月	68.5	616.6	69.8	646.7	1.3	30.1
年間平均	68.5	618.7	67.6	621.2	▲ 0.9	2.6

出所:財務省貿易統計

